

モンゴルの子どもたちにジャージを届ける活動に参加しました。(5/25)

あすなろ会では毎年、先輩たちが寄付してくれたジャージをモンゴルの子どもたちに届ける活動に参加しています。

あすなろ会でジャージをきれいに洗濯し、2年生文系総合学習でモンゴル語と英語でメッセージを書いたカードを作りました。あすなろ会の代表3名が、カードとジャージ3箱を西区の浄心院に持って行きました。

浄心院ボランティアの方々が、直接モンゴルに届けてくれます。代表の方から、モンゴルの子どもたちの現状や国際交流についての話をお聞きし、多くのことを学ばせていただきました。

#### ○浄心院の方にジャージを届けた人の感想

- 自分たちの価値観に固まってしまうとこれ以上の視野は広まることもないから、もっとその地域のことや人について知って自分の視野を広げていきたいと思っています。また、その地域だけでなく、自分たちの住んでいる広島という場所についても、もっと深く知りたいと思えるきっかけになりました。
- 夢を叶えるためには、まず口に出すこと、そうするとそれについての情報が集まってきて知識も増えるとおっしゃっていたので自分の思いを積極的に出していこうと思いました。
- 浄心院の住職さんのお話を聞かせていただきました。モンゴルなどの貧困地域に住んでいる人は自分たちのことを貧しいとは思っていないくて、これが普通だと思っているということをお聞きし、そのことについて悲しそうとか苦しそうとか思うのはやめようと思いました。

